

プログラミング第2同演習 最終課題

担当：高田真吾

2024年6月7日（金）

締切：2024年7月21日（日）23:50 （厳守！）

下記の講義管理システムを作成しなさい。なお、共同（最高3人まで）で作成しても構わない。

講義管理システム

講義管理システムは、「講義」、「学生」、「教員」の3種類の情報を管理している。各講義については、講義名、教室、講義開講曜日・時限、担当教員、履修している学生の一覧などの詳細情報がある。学生については、氏名、学籍番号、履修している講義などの詳細情報がある。教員に関しては、氏名、教員番号、担当講義などの詳細情報がある。

講義管理システムを操作する係りは任意のときに、講義、学生、教員に関する情報を追加・削除・修正・閲覧することができる。例えば、ある学生がどの講義を履修しているかを調べることができるし、講義の履修登録も行える。

注意点：

1. 上記の説明文で曖昧なところは、自由に解釈してよい。
2. ユーザインタフェースはGUIを使っても使わなくても構わない。つまり、コマンドライン実行でも構わないが、GUIの方が評価は高くなる。
3. 上記以外にいろいろな機能を追加した場合は、採点上は「+α」点として扱う。
4. プログラム中に日本語は使わないこと。（ユーザインタフェース、コメントを含む）
5. 早め早めにプログラミングを行った方がよい。間際まで待ったら、多分はまります。
6. 全部できなくても、できるだけのところまでやって提出すること。ただし、コンパイルできず、全く実行できない場合、限りなく0点に近い点数になる。
7. 提出したコードで完結するように。つまり、**Java SE** にないクラス（部品）は基本的に使わないこと。どうしても使いたい場合、レポート中にどのようなライブラリのどのバージョンを使用し、どこから入手でき、どのようにインストールするかなどの詳細を記述すること。なお、コンパイル・実行できなかった場合、点数は非常に低くなる。

提出物について

1. 講義管理システムのコード
 - コードはもちろん複数のjavaファイルからなるはず。（classファイルを提出しないこと！）
2. レポート
 - 形式：pdf
 - プログラムの説明および使い方を記すこと。特に何ができるのかははっきりとわかるように。
.1 + α点になるような機能を追加しても、実行して確認できない場合は+α点にならない。
 - 共同で作成した場合、レポート中に、共同作成者の氏名と学籍番号を明記すること。また、どのように作業を分担したか、一緒にやって難しかったことなどを記すこと。
 - WWW ページ、本などを参考にした場合、必ずレポート中に明記すること。

提出方法について（両方ともおこなうこと！）

1. K-LMS 上に、レポートを提出する場所（最終課題：レポート）とコードを提出する場所（最終課題：コード）を用意しますので、それぞれ別々に提出してください。
2. 共同で作成した場合、実際にコードとレポートを提出するのはグループの代表者1名が提出してください。グループの他のメンバーは、テキストファイル（またはPDFファイル）で誰が提出したかを、レポート・コードそれぞれの提出場所に提出してください。
 - 同一グループからコードとレポートを複数名が提出した場合、減点対象とする。